

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠA		
開講					
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	15
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード			出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する				
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる				
評価基準	テスト60% 小テスト20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネーター技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅱ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する				
担当教員	中谷 麗	実務経験	○		
実務内容	ブライダル司会者として結婚式場にて20年間勤務した実務経験を基に、ブライダルの基礎知識・用語・業界特性を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ブライダルコーディネーターの定義	ブライダルコーディネーター技能検定について理解する ブライダルコーディネーターの定義を理解する
2	結婚の定義	結婚の法的意義、婚姻の要件について理解する
3	結婚の定義	結婚に関する言葉とその定義、結婚の類語を知る
4	日本の結婚式・歴史と文化①	日本の結婚の歴史について学ぶ
5	日本の結婚式・歴史と文化②	日本の結婚の歴史について学ぶ
6	日本の結婚式・歴史と文化③	日本の結婚の歴史について学ぶ 宗教と結婚式について知る
7	日本の結婚式・歴史と文化④	結婚に関する風習・いわれについて学ぶ
8	欧米の結婚式・歴史と文化①	欧米の結婚式の歴史について知る
9	欧米の結婚式・歴史と文化②	欧米の結婚式の歴史について知る
10	欧米の結婚式・歴史と文化③	欧米の結婚式について知る
11	欧米の結婚式・歴史と文化④	欧米の結婚式について知る
12	ブライダルビジネス ブライダル市場	ブライダル市場規模、市場規模の推移について把握する
13	ブライダル業種	ブライダル関連業種について理解する
14	前期総まとめ	前期の学習内容を確認する
15	振り返り	振り返りとまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅠB		
開講					
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	1
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

エリア	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する				
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す ブライダルの基礎知識と用語を理解し、使いこなせる				
評価基準	テスト60% 小テスト20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルコーディネーター技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅱ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する				
担当教員	中谷 麗	実務経験	○		
実務内容	ブライダル司会者として結婚式場にて20年間勤務した実務経験を基に、ブライダルの基礎知識・用語・業界特性を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期ⅠA振り返り ブライダル関連業種	前期で学んだⅠAの内容を振り返る ブライダル関連業種について理解する
2	エリア特性 ブライダル業界の1年	結婚における地域特有の風習について学ぶ ブライダル業界の1年の流れと集客システムについて理解する
3	見合いと婚約①	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
4	見合いと婚約②	見合い、婚約、婚約記念品について学ぶ
5	結納・婚約式①	結納について学ぶ
6	結納・婚約式②	結納について学ぶ 婚約式、婚約披露パーティー、両家顔合わせについて学ぶ
7	ブライダル準備 キリスト教式	結婚までのスケジュールを理解する キリスト教式（カトリックとプロテスタント）について学ぶ
8	神前式①	神前式の歴史と現状について知る 神前式式次第①
9	神前式②	神前式式次第②
10	仏前式 挙式スタイル小テスト	仏前式の歴史と現状、仏前式式次第について知る キリスト教式・神前式・仏前式の挙式スタイルについて小テスト
11	人前式・シビルマリッジ	人前式、シビルマリッジの式次第について学ぶ
12	披露宴	披露宴のスタイル、披露宴の時間帯について学ぶ
13	披露宴の演出プラン	披露宴の進行について理解する
14	後期総まとめ	後期の学習内容を確認する
15	振り返り	振り返りとまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルビジネスマナー		
		開講	単位数	時間数	
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	サービス接客検定3級公式テキスト サービス接客検定実問題集3級		出版社	早稲田教育出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方やマナーを身につける				
到達目標	サービス接客検定3級に合格する 基本的なビジネス文書を作成することができる				
評価基準	小テスト30% 提出物30% 検定合格40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	サービス接客検定3級				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	中野 梨沙	実務経験	○		
実務内容	司会者として結婚式場にて18年間勤務した実務経験を基に、社会人として求められるビジネスマナーに関する知識を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ビジネスマナーとは	サービススタッフに必要とされる要件について学ぶ 身だしなみについて学ぶ
2	サービススタッフの 資質・専門・一般知識	サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ
3	対人技能	対人技能、エレベーターでの案内、席次について学ぶ
4	敬語	敬語について学ぶ
5	実務技能	実務的な技能を学ぶ
6	慶事・弔事のマナー	社交業務について学ぶ
7	接客者としての知識	接客者について学ぶ
8	検定対策	過去問題より検定対策を行う
9	社外文書①	社外文書の書き方を学ぶ
10	社外文書②	
11	電話対応	電話対応の方法について学ぶ
12	名刺交換・お茶出し	名刺交換の方法、お茶の出し方を学ぶ
13	面接のマナー	面接試験のマナーについて学ぶ
14	受付から誘導まで	受付から誘導までの方法を学ぶ
15	総合学習	振り返りとまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルカラー		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルカラー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	パーソナルカラーコーディネイト検定公式テキスト パーソナルカラーコーディネイト公式ワークブック		出版社	クリエスクール	

科目の基礎情報②

授業のねらい	色に関する知識・法則・技法を理論的かつ実践的に身に付ける				
到達目標	パーソナルカラーコーディネイト検定に合格する 様々なブライダルシーンの実践において色に対する提案力・コーディネート力を発揮できる人材になる				
評価基準	小テスト40% 提出物30% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネイト検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式と同時双方向型遠隔授業形式を併用し、実施する				
担当教員	廣川 朋子	実務経験		○	
実務内容	ブライダルフラワー デザイナーとして結婚式場にて8年、フラワー教室主宰として22年勤務した実務経験を基に、フラワーアレンジメントを通して培った色に関する知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーソナルカラーについて	パーソナルカラーの重要性を知る
2	色の性質①	色の持つ性質や特徴・有彩色と無彩色・色の三属性を理解する
3	色のトーン① 色の心理的効果	トーンごとに持つ色のイメージを学ぶ 色の心理的効果を理解する
4	配色①	配色の基礎を学び、配色構成を理解する 色相環・トーンを理解した上で配色を考える
5	配色②	イメージ配色の重要性を理解する 和装の配色方法を学ぶ
6	光の三要素 眼のしくみ	色がなぜ見えるのかを学ぶ 三要素を理解した上で、眼のしくみについて学ぶ
7	対比・補色対比 混色	対比・補色対比について学ぶ 加法混色と減法混色を学ぶ
8	色のトーン②	トーンの4つのグループの特徴を理解する
9	色のトーン③	メイク・ネイルを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ヘアカラーを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする ドレス・ブーケを相手がどのタイプか見分けアドバイスができる練習をする
10	検定対策①	検定対策を行う
11	検定対策②	
12	検定対策③	
13	パーソナルカラー判定①	自分がどのグループか判定を行い、似合う色をチェックする
14	パーソナルカラー判定②	各シーズンの特徴を学びファッションのアドバイスを実践する
15	総合学習	振り返りとまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルジュエリー		
開講			単位数	時間数	
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	なし	出版社	-		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ				
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案のできる人材を目指す				
評価基準	テスト50% プレゼンテーション30% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	ウェレンス 孝予	実務経験	○		
実務内容	ジュエリーデザイン、制作、販売を21年間務めた実務経験を基に、ジュエリーに関する知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性を学ぶ ブライダルジュエリーの歴史を学ぶ
2	ブライダルジュエリー基礎①	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
3	ブライダルジュエリー基礎②	
4	ブライダルジュエリー基礎③	
5	ブライダルジュエリー基礎④	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン①準備)
6	ブライダルジュエリー基礎⑤	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン②グループ発表)
7	ハワイアンジュエリー	ハワイアンジュエリーの知識を学ぶ
8	ブライダルジュエリーブランドを調べる①	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う(国内ブランド)
9	ブライダルジュエリーブランドを調べる②	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う(海外ブランド)
10	指輪のサイズ ラッピング技術	指輪のサイズの調べ方を学び、実際に各目のサイズを知る 実践で使えるラッピング技術を学ぶ
11	ブライダルジュエリー実践	ジュエリーのメンテナンス方法を学ぶ
12	プロポーズの提案①	商品を購入したお客様にプロポーズの提案を行う
13	プロポーズの提案②	提案したプロポーズ方法を発表する
14	前期振り返り	前期の授業内容の振り返りと知識確認を行う
15	総まとめ	これまでの授業の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジⅠ		
開講					
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	1
使用教材	電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式 ホットカーラー、ヘアアイロン、ドライヤー		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する				
到達目標	ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができる				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	佐々木 海衣 他1名	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクアーティストとして結婚式場にて15年間勤務した実務経験を基に、ヘアアレンジの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ブラッシング・ブロッキング	教材配布 ブラッシングの基本を知る・道具の名称・用途を理解する
2	黒ゴム結び ポニーテール	ゴムの結び方を習得する 10ブロック導入
3	ポニーテール	ブロッキング・ポニーテールのテストを実施する
4	編み込み①	表編み込み、裏編み込みの技術を習得する 片編み、フィッシュボーン、四つ編み、丸三つ編みを習得する
5	編み込み② (技術確認)	前回の復習 学んだ技術の確認を行う
6	アイロNSTYLING	アイロンの巻き方とバリエーションを学ぶ
7	ピンニング①	ピンニングの留め方とバリエーションを学ぶ (ハーフアップでピンニングと巻きをチェック)
8	ピンニング② (技術確認)	前回の復習 学んだ技術の確認を行う
9	ホットカーラー①	ホットカーラーの巻き方を実践する
10	ホットカーラー②	ホットカーラー反復練習を行う
11	ホットカーラー③・逆毛導入	ホットカーラー反復練習を行う 逆毛の立て方 (ボリューム逆毛+つなぎ逆毛)を理解する
12	ホットカーラー④	ホットカーラー反復練習を行う&スクリュ逆毛でポニーテールからのカールアップを学ぶ
13	ホットカーラー⑤ (技術確認)	ホットカーラー全頭20分を実施する スタイル作成・練習を行う
14	前期の学習内容の確認	前期に行った授業の確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する				
到達目標	ヘアアレンジの基礎力を反復練習でしっかりと定着させ、ヘアアレンジの応用ができる				
評価基準	実技テスト40% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)40% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	佐々木 海衣 他1名	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクアーティストとして結婚式場にて15年間勤務した実務経験を基に、ヘアアレンジの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	カールアップ①	カールスタイルのアレンジ・構成を学ぶ ※サイドアップ含む
2	カールアップ②	
3	カールアップ (技術確認)	巻きを含めずカールスタイルの技術の確認を行う
4	カールアップ③	逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ ※ベーシックなトップカールアップorリーゼント (ウィッグ)
5	カールアップ (技術確認)	巻きを含めずカールスタイルの技術の確認を行う
6	重ね夜会巻き①	夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ
7	重ね夜会巻き②	夜会巻きにおけるピンギの留め方とバリエーションを学ぶ
8	本夜会巻き①	本夜会巻きのスタイルを展開図からしっかり学ぶ
9	本夜会巻き②	本夜会巻きのスタイルをウィッグで練習
10	技術確認	重ね夜会か本夜会のどちらかで技術の確認を行う
11	相モデル①	今まで学んだスタイル (カールスタイル・面スタイル) を相モデルで実践を行う
12	相モデル②	
13	相モデル③	
14	相モデル④	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクA		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクA		
開講					
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	2
使用教材	電子版BASIC、ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ローションⅠ ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コントロールカラー		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 基本的なメイクを時間内に仕上げることができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(実技・筆記・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	山崎 七世 他2名	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクとして結婚式場にて10年勤務した実務経験を基に、基本的なメイク・ヘアアレンジの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	基本セッティングについて	基本セッティング&実践について学ぶ
2	骨格と表情筋 クレンジングについて	骨格と表情筋・顔の名称を覚える 手指消毒〜クレンジングまでの理論と方法を学ぶ
3	スキンケアについて	前回の復習を行う スキンケアの種類、方法を学ぶ実際に相モデルで行う
4	スキンケア実技・これまでの復習 ファンデーション導入	スキンケアの基礎知識の復習する ファンデーションについて説明、デモンストレーション、実践を行う
5	アイメイクについて①	ファンデーションについて復習する アイメイクについて学ぶ(アイシャドウ縦グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック)
6	アイメイクについて②	前回の復習を行う アイメイクについて学ぶ(アイシャドウ横グラデーション実践、アイライン、ビューラー、マスカラのテクニック)
7	アイブロウについて①	前回の復習を行う 基本の眉のプローションについて学ぶ&セルフ実技実践使用道具など
8	アイブロウについて②	前回の復習を行う アイブロウ相モデルで実践する 左右対称に行い、形の違いを理解する
9	チーク・リップについて ハイ&ローライトについて	前回の復習を行う 骨格を意識したメイクを学ぶ(3パターン行う)
10	フルメイクの練習①	タイムトライアル(45分)を実施する 時間内にメイクができるようになる 技術を向上させる(左右対称、自然な仕上がりなど)反復練習を行い技術力を上げる
11	フルメイクの練習②	
12	フルメイクの練習③ これまでの復習	
13	フルメイクの練習④	
14	学習内容の振り返り メイク検定ベーシックについて	タイムトライアルでフルメイクの実践・これまでの学習の振り返りを行う メイク検定について知る
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシックメイクB		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシックメイクB		
開講					
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	2
使用教材	電子版BASIC、ポイントメイクアップリムーバー・クレンジング・ローションⅠ ローションⅡ・エマルジョン・エッセンス・下地・コントロールカ		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	メイクの基礎知識を学び、基礎的なメイクアップ技術を身につける				
到達目標	メイク道具や化粧品についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 基本的なメイクを時間内に仕上げるができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(実技・筆記・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ベーシックメイク検定				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	山崎 七世 他2名	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイクとして結婚式場にて10年勤務した実務経験を基に、基本的なメイク・ヘアアレンジの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ソフト理論を学ぶ	検定について知る プロポーションについてレクチャー・相モデルでポイントメイクを行う
2	ソフトの練習	相モデルでフルメイク練習を行う(タイムトライアル制限時間内にメイクをする)
3	シャープ理論を学ぶ・学習の振り返り	レクチャー・相モデルでポイントメイクを実践する ここまでの学習の振り返りを行う
4	シャープの練習	相モデルでフルメイク練習を行う(タイムトライアル制限時間内にメイクをする)
5	ソフトORシャープの練習①	検定に向けて実践練習
6	ソフトORシャープの練習②	タイムトライアル制限時間内にメイクをする
7	検定対策	検定と同様に実技練習を行う(スキンケア～フルメイク) 筆記試験対策を行う(苦手な部分を集中して練習)
8	メイクの種類を学ぶ① カラーボリュームについて	プロポーション、パーツと印象の関係、プロポーションパーツ
9	メイクの種類を学ぶ② カラーボリュームについて	色とトーン、質感、カラーボリュームバランスイメージを理解する(SWEET/ROMANTIC)
10	メイクの種類を学ぶ③シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する(FEMININE/LUXURY)シーンに合わせたメイク…和装などに合うメイク
11	メイクの種類を学ぶ④シーン別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する(POP/NATURAL)シーンに合わせたメイク…美しいベースメイク
12	メイクの種類を学ぶ⑤ケース別メイク	イメージに合わせたメイクを理解する(COOL/CRASICAL)シーンに合わせたメイク…カラードレスに合わせるメイク
13	メイクの種類を学ぶ⑥ケース別メイク	メイクパターンをデッサン画にする イメージがわかるカラージュのやり方ブライダルシーンに合わせたメイク
14	モデルの顔分析似合わせ	モデルの顔分析から、相モデルにてテーマに合わせて施術
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アテンド実践A		
必修選択	選択	(学則表記)	アテンド実践A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、心得を修得することにより、結婚式当日の挙式の流れを理解する				
到達目標	衣装の取り扱いを理解し、ブライダルプロジェクト時(模擬挙式)に実践する				
評価基準	テスト(小テスト含む) 50% 実技30% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ドレスデザインA・ブライダルプロジェクトⅠA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松原 明歌	実務経験		○	
実務内容	ドレススタイリストとしてドレスサロンで8年間勤務した実務経験を基に、ブライダル業界にて求められるアテンドの知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	結婚式について アテンド（介添）について	結婚式の種類・アテンド（介添）について知る
2	当日のアテンド（介添） 業務について	新郎新婦様来館から挙式披露宴の介添えの動きを学ぶ
3	アテンド（介添）に 求められる要素	アテンド（介添）の位置づけを理解した上で、求められる要素を考える
4	アテンド（介添）について （説明）	挙式の流れ、アテンドの位置確認とアテンドの動き、パール、ブーケ、手袋の扱い方 新郎新婦の立ち振る舞いについて（立ち方・歩き方・座り方） アテンダーの立ち振る舞いについて（立たせ方・座らせ方・持ち方・誘導の仕方）
5	アテンド（介添）について （説明）	和装のアテンドの仕方、新郎新婦の立ち振る舞いについて学ぶ
6	アテンド（介添）について （実践）	新郎新婦の立ち振る舞いの実践を行う
7	挙式のアテンド① （実践）	挙式の流れ通りにロールプレイングを行う
8	挙式のアテンド② （実践）	
9	挙式のアテンド③ （実践・振り返り）	挙式アテンドの振り返りを行う
10	挙式のアテンド④ （模擬挙式の練習）	ブライダルプロジェクトⅠAと連動し、模擬挙式のロールプレイングを行う
11	挙式のアテンド⑤ （模擬挙式の練習）	
12	挙式のアテンド⑥ （模擬挙式の練習）	
13	配慮が必要なお客様の対応	配慮が必要なお客様への知識（マタニティ、お子様連れ、足が不自由、高齢のお客様）を学び、対応方法を考える
14	総まとめ	ここまで学んできた内容をアウトプットする
15	総合学習	振り返りとまとめを行う

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ドレスデザインA		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザインA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	後期に受験予定の全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	アテンド実践A、ドレスデザインB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松原 明歌	実務経験		○	
実務内容	ドレススタイリストとしてドレスサロンで8年間勤務した実務経験を基に、ドレススタイリング等の知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	ドレスの構造とデザイン	歴史に見るウェディングドレスの移り変わりを学ぶ			
2	ウェディングドレスの構造 ドレスに使用する主な素材	ウェディングドレスの構造、装飾、ドレスに使用する主な素材について学ぶ			
3	ドレス各部のデザイン	シルエット別のデザインについて学ぶ ネック別ラインのデザインについて学ぶ			
4	ドレス各部のデザイン	ネックライン別・スリーブ別・スカート別・スカートの長さ・カラードレス・二次会用ドレスについて学ぶ			
5	ドレスフィッティング実習	前週に学んだ知識を活かしドレスフィッティングを実践する			
6	ドレスフィッティング実習	ドレスフィッティングを実践する			
7	ウェディングドレスに合わせる小物	ウェディングドレスに合わせる小物について学ぶ ブライダルインナー、ヘッド装飾の種類を学ぶ			
8	ウェディングドレスに合わせる小物	アクセサリー、イヤリング、上着、シューズについて学ぶ			
9	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	日本、欧米のサイズ展開を学ぶ			
10	ドレスのサイズ展開と採寸・補正	採寸とドレスのお直し(リフォーム)について学ぶ			
11	男性の洋装	男性の洋装について学ぶ			
12	男性の洋装	男性洋装小物、男性洋装のサイズ展開と採寸について学ぶ フィッティングも実施する			
13	ヘアースタイルによる スタイリング効果	ドレスシルエットとヘアースタイルのバランスを学ぶ			
14	総まとめ	半期の学習内容を確認する			
15	振り返り	振り返りとまとめを行う			

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ドレスデザインB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスデザインB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	衣装の知識を学び、検定を取得する				
到達目標	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定取得を目指す				
評価基準	テスト70% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	全米ブライダルコンサルタント協会認定 ドレススタイリスト検定				
関連科目	ドレスデザインA、ブライダルプランナー検定Ⅰ(WP科ハウスウェディングコース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松原 明歌	実務経験		○	
実務内容	ドレススタイリストとしてドレスサロンで8年間勤務した実務経験を基に、ドレススタイリング等の知識・技術を教授する				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元	内容			
1	体型によるスタイリング効果	体型別のスタイリング方法を学ぶ			
2	体型によるスタイリング効果				
3	フィッティング実習	ドレス・タキシードのフィッティングを実践する			
4	ブライダルパーティー 衣装店のビジネスと市場	ブライダルパーティーについて知る 衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る			
5	和装衣装	新婦和装衣装について学ぶ			
6	和装衣装				
7	和装衣装 列席者衣装	新郎和装、列席者の衣装について学ぶ			
8	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向について知る			
9	衣装店のビジネスと市場について	衣装店のビジネスと市場・お客様動向、実務内容について知る			
10	検定前対策 過去問題より	ドレススタイリスト検定対策問題を行う			
11	検定前対策 過去問題より				
12	検定前対策 過去問題より				
13	検定前対策 過去問題より				
14	総まとめ	半期の学習内容を確認する			
15	振り返り	振り返りとまとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め・腰ベルト・腰ひも・仮ひも・和装スリップ(肌着)・クリップ(5点セット)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				
到達目標	きもの着付け3級取得				
評価基準	検定試験40% テスト30% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	花嫁着付けⅠB(後期) 花嫁着付けⅡA・B(2年)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	友寄 美江子 他3名	実務経験		○	
実務内容	着付け師として結婚式場にて16年間勤務した実務経験を基に、着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	着付けについて	教材小物の説明・記名を行う 取得資格について理解する
2	小紋の着せ方①	補正について、長襦袢の着せ方、たたみ方を学ぶ
3	小紋の着せ方②	小紋の着付け(組み合わせ)、着物のたたみ方を学ぶ
4	小紋の着せ方③	小紋の着付け(衿合わせ)を学ぶ
5	小紋の着せ方④	小紋の着付け(お端折の作り方)を学ぶ
6	小紋の着せ方⑤	半幅帯について、小紋への蝶結びの方法を学ぶ 着物の名称の確認を行う
7	小紋の着せ方⑥	小紋への蝶結びの方法を学ぶ
8	小紋の着せ方⑦	仕上げの方法を学ぶ
9	3級検定について	検定試験の流れを確認する
10	3級検定試験	小紋の着付けと蝶結び(20分)、たたみ方試験を行う
11	着物の名称	着物の名称、漢字の読み方を学ぶ 浴衣の自装を行う
12	浴衣の着せ方	浴衣の他装、半幅帯バリエーション、男性浴衣の着せ方を学ぶ
13	小紋と名古屋帯①	名古屋帯について、帯のセットの仕方、お太鼓結びを学ぶ
14	小紋と名古屋帯②	普段着の着付け(紐使い)、小紋にお太鼓結び仕上げを学ぶ
15	総合学習	振袖について学ぶ 前期総まとめ(小物使いと紐使い)を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め・腰ベルト・腰ひも・ 仮ひも・和装スリッパ(肌着)・クリップ(5点セット)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				
到達目標	きもの着付け2級取得				
評価基準	検定試験40% テスト30% 授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	花嫁着付けⅠA(前期) 花嫁着付けⅡA・B(2年)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	友寄 美江子 他3名	実務経験		○	
実務内容	着付け師として結婚式場にて16年間勤務した実務経験を基に、着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付けも習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身につける				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方①	振袖の着付け(紐使い)準備・たたみ方を学ぶ
2	振袖の着せ方②	袋帯について、帯のセットの仕方、ふくら雀の結び方を学ぶ
3	振袖の着せ方③	振袖にふくら雀びを行う
4	振袖の着せ方④	振袖にふくら雀びを行う 仕上げの方法を学ぶ
5	振袖の着せ方⑤	
6	振袖の着せ方⑥	
7	振袖の着せ方⑦	
8	2級検定について	検定試験の流れを確認する
9	2級検定試験	振袖にふくら雀(30分)を行う
10	きものTPO	きものTPOを学ぶ
11	留袖の着せ方①	留袖について知る 留袖の着付け、二重太鼓の結び方を学ぶ
12	留袖の着せ方②	留袖の年齢別・体型別の着付けを学ぶ
13	留袖の着せ方③	留袖の着付け・仕上げを学ぶ
14	紋服の着せ方	紋服について知り、着せ方・たたみ方について学ぶ
15	総合学習	女袴について知り、着せ方・たたみ方について学ぶ 後期まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅠA		
開講					
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	2
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式 カラーポリッシュ、チップ等		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術を身に付ける				
到達目標	ネイル道具やセッティング方法についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 検定に向け時間内に仕上げるができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む) 20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定3級 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験初級				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本多 知子 他2名		実務経験	○	
実務内容	ネイリストとしてネイルサロンにて15年間の実務経験を基に、ネイルの基礎技術の知識と技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	テーブルセッティングについて	検定について知る 教材チェックを行う テーブルセッティングのやり方について学ぶ
2	ネイルの歴史 ファイリング、カットスタイル	【座学】ネイルの歴史について学ぶ 【実技】手指消毒、ファイリング、5種類のカットスタイルについて学ぶ
3	技術体系、爪の構造と働き ファイリング、クリーンナップ	【座学】技術体系、爪の構造と働きについて学ぶ 【実技】ネイルケアのステップ、ファイリング～クリーンナップについて学ぶ
4	皮膚科学 パフティング、クリーンナップ	【座学】皮膚科学について学ぶ 【実技】パフティング、クリーンナップについて学ぶ
5	消毒法 クリーンナップ	【座学】消毒法について学ぶ 【実技】クリーンナップについて学ぶ
6	検定対策 パフティング、カラーリング	【座学】検定対策を行う 【実技】パフティング、カラーリング、ポリッシュオフについて学ぶ
7	皮膚科学、検定対策 アート	【座学】皮膚科学について学ぶ、検定対策を行う 【実技】アート
8	プロフェッショナリズム～衛生基準 3級検定対策	【筆記・実技】 3級検定の対策を行う
9	爪の病気とトラブル 3級検定対策	【座学】爪の病気とトラブルを学ぶ 【3級検定対策】何度も反復練習を行う（施術時間の短縮と、施術のレベルアップを図る）
10	3級検定対策	何度も反復練習を行う（施術時間の短縮と、施術のレベルアップを図る）
11	検定に向けて座学内容の確認を行う	ネイル検定3級に合わせた内容で座学内容の確認を行う
12	検定に向けて実技の確認を行う	ネイル検定3級に合わせた内容で実技内容の確認を行う
13	検定に向けて実技の確認を行う	ネイル検定3級に合わせた内容で実技内容の確認を行う
14	3級検定説明	3級の検定試験について、要項・DVDなどを使用して学ぶ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅠB		
開講					
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	2
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式 カラーポリッシュ、チップ、ジェル道具一式、チップラップ道具一式		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎技術・知識をマスターし、その先の応用技術を習得する				
到達目標	ネイル道具やセッティング方法についてしっかり把握した状態で実習を行うことができる 検定に向け時間内に仕上げることができる				
評価基準	検定結果(3級)30% 検定結果(初級)30% 小テスト(筆記実技・課題提出も含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター JNECネイリスト技能検定 NPO法人日本ネイリスト協会 JNAジェルネイル技能検定試験				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本多 知子 他2名	実務経験	○		
実務内容	ネイリストとしてネイルサロンにて15年間の実務経験を基に、ネイルの基礎技術・知識をマスターし、その先の応用技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	3級検定説明 検定対策(実技)	検定要項を使用し、3級検定について詳細を説明する 【実技】3級検定に向けタイムトライアルを行う(何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る)
2	検定対策(実技)①	【実技】3級検定に向けタイムトライアルを行う(何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る) 【筆記対策】過去問や小テストを使用しながら、筆記試験の対策を行う
3	検定対策(実技)②	
4	ジェルネイル基礎理論 クリア、1カラー、オフ	ジェル検定初級(時期、内容)について知る ジェルネイル基礎理論を学ぶ 【実技】プリパレーション、クリア、1カラー、オフについて学ぶ
5	ピーコック	ピーコックについて学ぶ 【実技】1カラー〜ピーコックについて学ぶ
6	ジェル検定初級説明 ジェル検定初級対策	ジェル検定初級について要項やDVDを使用して学ぶ 実技試験対策として初級に向けてタイムトライアル(何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る)
7	ジェル検定初級①	実技試験対策として初級に向けてタイムトライアル(何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る)
8	ジェル検定初級②	
9	筆記試験対策 実技試験対策	ジェル検定初級の筆記内容で対策を行う 実技試験対策として初級に向けてタイムトライアル(何度も反復練習をすることで、施術時間の短縮とレベルアップを図る)
10	トレンドアート①	流行のトレンドアートについて学ぶ
11	トレンドアート②	
12	カラーリング・アート①	カラーリング・アートについて学ぶ
13	カラーリング・アート②	
14	カラーリング・アート③	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	クリエース化粧品 (BP科/B科/BD科2年生用 エステセット) ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社	クリエース、マレアクリエイト、村上タオル	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステへ通う事の意義や重要性を伝える事を習得する				
到達目標	基礎になるフェイシャルエステとボディエステができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉野 佳	実務経験	○		
実務内容	エステティシャンとして10年間勤務した実務経験を基に基礎的なエステティックの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステティックとは 使用方法と説明	ベッドメイク、スチームタオル作り 化粧品配布と取扱い、一連の流れについて学ぶ
2	ボディ技術理論 生理解剖/エステティック種類	トリートメントの目的を学ぶ 皮膚の構造・エステサロンの種類・ボディカウンセリングについて学ぶ
3	マッサージ～ホットタオル拭取り①	マッサージ導入・デモを行う (下肢後面、軽擦法～強擦法・揉撫法・打法・振動法、圧迫法～軽擦法)
4	マッサージ～ホットタオル拭取り②	
5	マッサージ～ホットタオル拭取り③	
6	実技確認	ご案内～マッサージ～ホットタオル～仕上げを行う
7	アロマとは 精油の基礎知識を学ぶ	精油について 精油が心身に作用する経路を知る
8	アロマテラピーの利用法 知識確認	香りのイメージを学ぶ 精油の使用法、安全の為の注意について理解する
9	腰部マッサージ① (アロマトリートメント)	デモンストレーション・手技・拭き取りについて学ぶ
10	腰部マッサージ② (アロマトリートメント)	復習する
11	腰部マッサージ③ (アロマトリートメント)	
12	復習 通し練習①	腰部マッサージ (アロマトリートメント) を行う 実技確認を行う
13	復習 通し練習② 実技確認	
14	知識確認	前期で学んだ範囲の知識確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステB		
開講					
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	1
使用教材	クリエヌ化粧品 (BP科/BC科2年生用 エステセット)、ナースシューズ 実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社	クリエヌ、マリアクリエイト、村上タオル	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステサロンへ通う事の意義や重要性を伝えることを習得する				
到達目標	基礎になるフェイシャルエステとボディエステができる				
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉野 佳	実務経験	○		
実務内容	エステティシャンとして10年間勤務した実務経験を基に基礎的なエステティックの技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル技術理論 皮膚学について	フェイシャルについて・トリートメントの目的を理解する 皮膚の構造を学ぶ
2	フェイシャルケアの流れ ポイントクレンジング	フェイシャルセッティングの流れを理解する ポイントメイククレンジング/手技練習について学ぶ
3	クレンジング～コットン・スポンジ拭取り ホットタオルふき取り	クレンジング・拭き取り/手技について学ぶ ホットタオル拭取りのための準備や方法を学ぶ
4	クレンジングから復習	ホットタオル拭き取り実践を行う
5	マッサージ～ふき取り～仕上げ①	マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う
6	マッサージ～ふき取り～仕上げ②	
7	クレンジング～マッサージ～ふき取り～仕上げ①	クレンジングからホットタオル拭き取り～マッサージ～ふき取り～仕上げ①
8	クレンジング～マッサージ～ふき取り～仕上げ②	
9	実技確認	後期に学んだ範囲(フェイシャル)の実技確認を行う
10	フェイシャルバック ディーブクレンジング① ピーリング	デモンストレーションより学び実践を行う 手技・拭き取りについて学ぶ
11	フェイシャルバック ディーブクレンジング② ピーリング	前回の復習・実践を行う フェイシャルバックの実技確認を行う
12	フェイシャルカウンセリング①	お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルバック・ディーブクレンジングの種類を提案し、技術ができる カウンセリング～ディーブクレンジング～フェイシャルバック
13	フェイシャルカウンセリング②	
14	知識確認	後期に学んだ範囲の知識確認を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フラワーアレンジ		
必修選択	選択	(学則表記)	フラワーアレンジ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	45
使用教材	花と遊ぶ・花を学ぶフラワーデザイン入門		出版社	講談社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ウェディングに人気の花の種類・値段・ブーケ・装花のスタイルと作成技術を習得する				
到達目標	ブライダルフラワーアレンジメント資格を取得する ブライダル装花の種類を理解し、様々なスタイルが作成できる				
評価基準	テスト30% 授業態度30% 検定合格40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ブライダルフラワーアレンジメント				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	廣川 朋子	実務経験	○		
実務内容	ブライダルフラワー デザイナーとして結婚式場にて8年、フラワー教室主宰として22年勤務した実務経験を基にフラワーアレンジメントに関わる知識・技術を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フラワーデザインについて リボン作成	フラワーデザインやウェディングフラワーについて学ぶ リボンの作り方を学び、実践する
2	コサージュ・ブートニア	ワイヤリング、テーピング方法を学び、コサージュ作成を行う
3	花束・ラッピング	ラッピングの必要性、保水方法を学び、花束作成を行う
4	ゲストテーブル①(ドーム型)	ゲストテーブルのアレンジメントの種類を学び、ドーム型アレンジメント作成を行う
5	ラウンドブーケ①	ドレスとの相性やトレンドを学び、ラウンドブーケ作成を行う
6	ゲストテーブル②(水平型)	テーブルの形をテーブルアレンジの関係を学び、水平型アレンジメント作成を行う
7	メインテーブル	水平型を生かし、メインテーブル製作をグループで作成する
8	いろいろなアレンジ	ブライダルフラワーのバリエーションを学び、ギフト用バスケットアレンジを作成する
9	キャスケードブーケ	ラウンドブーケの作り方を応用し、キャスケードブーケを作成する
10	振り返り	ここまでの学習内容の振り返りを行う
11	トライアングラー	三角形の作り方を学び、トライアングラー型アレンジを作成する
12	フローラルアクセサリー	ウェディングにおいてのフローラルアクセサリーの種類を学び、作成する
13	ラウンドブーケ②	ブーケホルダーを用いたラウンドブーケ作成
14	ブライダル装花	グループでテーマを決め、イメージに合わせたアレンジを作成する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅠA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	30
使用教材	なし		出版社	-	

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして人前式の企画・施行の全てを行うことができる				
到達目標	挙式の一連の流れを理解する 各役割で連携を取り、模擬挙式を作ることができる				
評価基準	授業態度40% 制作物40% 振り返り20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	パーティプロデュース、アテンド実践A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉岡 知美 他1名	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクとしてブライダルフォトスタジオで5年間勤務した実務経験を基に、人前式の企画・施行に関わる知識・実践方法を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	概要の把握	模擬挙式概要を把握する 当日までのスケジュール、各セッションについて理解する
2	目標・テーマ・各セッション決定	目標立て・模擬挙式のテーマ決め・各セッションメンバーを決める
3	スケジュール・予算立て、デッサンシート作成	チームごとに準備スケジュール立て・チーム費の使い方説明・予算立てを行う
4	各セッション制作①	各セッションごとに準備を進める
5	各セッション制作②	
6	各セッション制作③	
7	各セッション制作④	
8	紙上リハーサル	完成した進行表をもとに紙上リハーサルを行う
9	挙式リハーサル①	挙式リハーサルを行う(各セッション、動きの確認)
10	挙式リハーサル②	
11	挙式リハーサル③	
12	全体リハーサル①	全体リハーサルを行う(受付～誘導～挙式～お見送り)
13	全体リハーサル②	全体リハーサルを行う(受付～誘導～挙式～お見送り・タイム取り)
14	振り返り	模擬挙式の振り返りを記入
15	総まとめ	振り返りの返却・総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅠB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅠB		
開講					
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	1
使用教材	なし			出版社	—

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につける 業界で求められるニーズを把握し、再現するためのコーディネート力を習得する				
到達目標	ブライダル業界の課題に対する改善策を考え、プレゼンテーションできる これまで学んだ技術を生かし、花嫁の全身コーディネートを創りあげる				
評価基準	校内選考企業評価50% グループレポート30% 授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	マーケティング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉岡 知美 他1名	実務経験	○		
実務内容	ヘアメイクとしてブライダルフォトスタジオで5年間勤務した実務経験を基に、人前式の企画・施行に関わる知識・実践方法を教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期行事について	ブライダルコンペティションについて概要を把握する 企業様によるブライダル業界についての講話を聞く
2	成績評価について	成績評価に加わるレポートについて把握する 全国コンペティションの映像を鑑賞する
3	チーム分け	チーム分けの発表 チームごとに内容を検討する
4	内容検討	チームごとに内容を検討する グループレポートを記入する
5	プレゼンテーション準備①	チームごとにプレゼンテーション、制作準備を進める
6	プレゼンテーション準備②	
7	プレゼンテーション準備③	
8	プレゼンテーション準備④	
9	プレゼンテーション準備⑤	
10	リハーサル①	リハーサルを行う
11	リハーサル②	
12	リハーサル③	
13	本番	コンペティション本番（授業外での開催の可能性もあり）
14	振り返り	コンペティション振り返りを実施する
15	総まとめ	後期総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムA		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	1	15
使用教材	7つの習慣」テキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ)		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける				
到達目標	7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる 7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる				
評価基準	テスト20% 授業態度40% 提出物40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本多 知子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	「未来デザインプログラム」とは何か学ぶ 夢のスケッチブックの使い方を学ぶ
2	SANKOワークコンピテンス	SANKOワークコンピテンスの理解を深める
3	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
4	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
5	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ
6	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ
7	言葉～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
8	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
9	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なことは？	なりたいたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけでなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラムB		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラムB		
開講					
年次	1年	学科	プライダルヘアメイク&ドレス科	単位数	1
使用教材	7つの習慣」テキスト 夢のスケッチブック (WEBアプリ)		出版社	FCEエデュケーション	

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける				
到達目標	7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる 7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる				
評価基準	テスト20% 授業態度40% 提出物40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	本多 知子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信額貯金箱	信額貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
3	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
4	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
5	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを知る
6	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ
7	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
8	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
9	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する
10	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿(仕事、家庭、趣味など)を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
11	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
12	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
13	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的的成功が公的成功に先立つことを理解する
14	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習(知識確認)する
15	2年生に向けて	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	CAREER SUPPORT BOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る 面接や内定後までの流れを知る				
到達目標	就職活動の流れを理解する 魅力的な履歴書の書き方を習得する 面接方法が実践できる				
評価基準	授業態度30% 提出物40% 面接30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉岡 知美 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	キャリアデザインについて 就職活動の流れを理解する	キャリアデザインの授業の重要性について知り、就活の流れを理解する (ISの復習込み・1day) スタプロ継続が就活、その先の仕事に繋がることを理解し、学校生活のルールを確認する
2	ブライダル業界・職種について 就職活動サイト登録・メールの送り方	ブライダル業界の魅力や大まかな職種を知り自身の職種について考える (インターンシップ対策と運動) マイナビ、リクナビに登録をする
3	企業調べ・企業研究について 就活ノートのまとめ方・活用方法	企業担当一覧を元に検索、気になった企業名を挙げていき、企業情報のまとめ方・調べ方を知る 先輩の就活ノートを参考にまとめ方、活用方法を知り、作成始められる状態とする
4	働くことをイメージする 就活の軸・求人票の見方	就活の軸を考える 求人票の見方・福利厚生等を知る
5	就活の軸・自己分析について 身だしなみについて	就活の軸を考え、過去分析を行う 7月就職イベントに向けた身だしなみについて理解する
6	自己分析について 伝え方(文章構成)の方法を学ぶ	現在から未来について考える PREP法について学び、文章構成の作り方を理解する
7	コース分け 自己分析を行いPREPで文章を考える	各コースの違いと特徴について知る 自己分析と運動して、PREP法で文章を作成する
8	自己分析について①	自己分析ワークを行う
9	自己分析について②	個人面談で就活の軸の深堀りを行う
10	自己分析について③ 1dayインターンシップについて	自己分析ワークを行う 個人面談で就活の軸の深堀りを行う 1dayインターンシップについて知る
11	自己分析について イベントへ参加姿勢・身だしなみチェック	自己分析ワークを行う 個人面談で就活の軸の深堀りを行う 就活イベントの参加姿勢を理解し、身だしなみ確認を行う
12	SPIとは グループディスカッションとは	SPI・グループディスカッションとは何かを理解し、何を意識して実施するかを理解している 電話とメールのマナー (インターンシップ対策と運動)、署名設定する
13	グループディスカッション実施①	グループディスカッション振り返り
14	グループディスカッション実施②	実践を行う
15	総合授業	学習の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	プライダルヘアメイク&ドレス科	2	30
使用教材	CAREER SUPPORT BOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る 面接や内定後までの流れを知る				
到達目標	就職活動の流れを理解する 魅力的な応募書類の書き方を習得する 面接方法が実践できる				
評価基準	授業態度30% 提出物40% 面接30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉岡 知美 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります。

各回の展開

回数	単元	内容
1	就活のスケジュール クラスコミュニケーション	就職の流れを改めて確認し、証明写真撮影に向けて身だしなみの再確認を行う クラス間コミュニケーションワークを実施する
2	早期選考について 企業を知ることの重要性	企業の早期選考について理解し、就職の準備を行う
3	企業調べ・企業の志望動機の文章構成 面接導入	企業の調べ方とどのようなポイントを見ていくのかを理解し、自身の就活軸との結び付け方を考える 志望動機の書き方を理解する 面接の導入を行う
4	身だしなみ ESの書き方・面接対策	証明写真にふさわしい身だしなみか確認を行う エントリーシートの種類を知る・エントリー動画のポイントを理解する 面接対策(学校名・名前の練習)を行う
5	面接練習①	面接練習を行う 同時に志望動機・エントリーシート作成、SPI・一般常識対策を実施する
6	面接練習②	
7	面接練習③	
8	面接練習④	
9	面接練習⑤	
10	面接練習⑥	
11	面接練習⑦	
12	面接練習⑧	
13	面接練習⑨	
14	面接練習⑩	
15	内定後のフロー 総合授業	内定後のフローについて理解する 学習の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ブライダルヘアメイク&ドレス科	2	60
使用教材	なし		出版社	-	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	相川 彩香	実務経験	○		
実務内容	ウェディングプランナーとして結婚式場にて7年間勤務した実務経験を基に、ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を教授する				